

“あるもの磨き”でまちの新たな魅力を発掘・提案！

平成30年度「みらい会議」を開催しました

8月18日(土)に、生涯学習センターで本年度第1回目の「みらい会議」を開催しました。会場には、約70人が集まり、市長からの市政報告を聞いたあと、ワークショップに参加し、まちの新たな魅力づくりについて話し合いました。

企画政策課

☎995-1804

市政報告

市政報告で高村市長は①平成29年度主要事業の進捗状況②平成30年度新規事業について説明しました。市の主要事業を「まち“共生”」「ひと“共育”」「しごと“共栄”」「市民協働・PR・広域連携」の4つの項目に分類し、12の事業について平成29年度の進捗状況を報告しました。

また、今年度から新たに実施している事業のうち、「保育環境拡充事業」など、5つの事業について説明を行いました。

ワークショップ

会場内に小さな子どもの「遊びスペース」や市が実施する屋上緑化事業の苗木を配置するなど、にぎわいと癒やしのある雰囲気の中で、楽しい議論が交わされました。

10グループ（各5～6人）に分かれた参加者は、「裾野市にあるもの」を掛け合わせ、まちの新たな魅

力づくりに取り組みました。最後に、各グループの提案発表が行われ、良かったと思う提案について、参加者全員で投票を行いました。グループからの提案は「みらい会議実行委員会」で実現に向けた協議を行っています。



投票結果（上位5提案）

得点	提案内容
16点	コスプレイヤーが裾野市をPR（富士山×演習場×コスプレ）
15点	ご当地炭酸水を製造・販売（裾野の水×炭酸×すそのん）
14点	象が五竜の滝の前で水浴び（富士サファリパーク×象×五竜の滝）
10点	裾野高校と協力して地域活性化（裾野高校×市役所×地域）
10点	市民参加型で市のPRを強化（裾野の風物×市民参加×SNS）

市総合計画等評価委員会で総合計画の進捗状況进行评估

8月31日(金)に、第4次総合計画後期基本計画などの進捗状況を評価するため、評価委員会を開催しました。右表のとおり総合計画で掲げる6つの「施策の大綱」ごとに有識者7人が評価をしました。進捗に遅れのある事業は見直しを図り、計画期間（平成28年度～32年度）中に目標が達成できるよう毎年進捗管理を行っていきます。

【凡例】

A…目標を達成するために、順調に進捗している

B…一部遅れはあるものの、目標の達成が見込まれる

C…より一層の推進を要する

区分	施策の大綱	評価
健康・福祉	1. だれもが将来にわたってすこやかに暮らせる健康と福祉の「すその」	B
教育・文化	2. 成長するよろこびと地域のつながりで心の豊かさを育む「すその」	B
生活・環境	3. 市民と行政が手を携えてつくる安心と活力のある「すその」	A
都市基盤	4. 豊かな自然と暮らしやすさが調和した「すその」	B
産業経済	5. 今ある魅力と資源を再発見し、未来へつなげる「すその」	A
行政経営	6. 健全な行政をみんなが実感できる市民と未来に開かれた「すその」	B
第4次総合計画後期基本計画 平成29年度進捗状況		B